

平成30年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<p>1 一人一人の児童生徒の尊重</p> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<p>2 友達への思いやり</p> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<p>3 道徳・心の教育の充実</p> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p>
<p>【学校から】○一人一人の生徒の尊重に関しては、昨年度と比べて「3」「4」の割合が生徒が5ポイント、保護者は10ポイント上がっている。しかし生徒・保護者の双方とも「1」「2」の割合が10ポイント以上ある現状を考慮し、今後もさらにそれぞれの生徒の良さを認め、親身な対応を心掛けていきたい。○友達への思いやりは高い評価が得られたが、人間関係をうまく作ることが苦手な生徒も多いので、各学級でのエンカウンター活動等にさらに力を入れたい。○道徳・心の教育に関しては保護者からの評価が上がっていた。学校公開日での道徳の授業公開にも多くの保護者に来ていただき、その際の感想などを紹介した道徳通信を発行したことで本校の教育方針を伝えることができたと思う。</p>		

②確かな学力を育む教育の推進

<p>4 意欲的な学習態度</p> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>5 授業力向上</p> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>6 ICT活用</p> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○「意欲的な学習態度」に関しては教職員と生徒・保護者の評価の差が大きい。「意欲的」のとらえ方の違いと思われる。次期指導要領にもある「主体的・対話的で深い学び」を進めるためにも教職員だけでなく、生徒・保護者との共通理解を図りたい。授業に関しては、職員がICT機器を活用しようとしていることがよく表れているが、生徒の20%以上が「わかる授業・楽しい授業づくり」に関して「1」「2」の評価をしているので、機器の活用だけでなく授業の組み立て方に関しても研修を重ねる必要がある。</p>		

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり

子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

【学校から】○昨年度と比べると生徒の評価は向上している。また、昨年度よりも給食の残食は減少している。今後は昼休み等の運動を促す方法を考えていきたい。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

8 児童生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。

9 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

②特別支援教育の推進

10 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

【学校から】○児童生徒理解に関しては生徒・保護者とも昨年度より評価が上がっていた。いじめや問題への対応も評価が上がっていた。生徒間でトラブルが起きた場合は、学年等で組織的に早めの対応ができていると思うが、今後も生徒の様子によく目を配り、いじめ等の未然防止に努めたい。特別支援に関しては職員・保護者両方も昨年度より向上した。今後は月に1回特別支援委員会を実施し、支援が必要な生徒についての情報共有とその対応について共通理解と実践を図っていきたい。

①子どもたちの身近な安全対策の充実

11 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

【学校から】○昨年度とほぼ評価は変わらないが、校舎内での過ごし方には課題があるので、職員や生徒からの呼びかけとともに、具体的な方策を考えていきたい。

②最適な学習環境の整備

12 施設・設備の安全管理

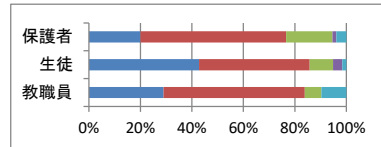
学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

【学校から】○学校施設が老朽化しているため、修繕が必要な箇所が多くあるが、事務と学校主事ができる限り迅速に対応している。

③家庭・地域社会との連携強化

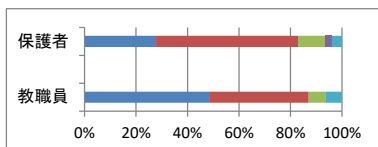
13 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

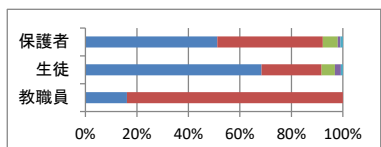


【学校から】○学校長が毎週学校だよりをホームページに掲載しているので、学校の様子は保護者のほうにも広く伝わっていると思われる。教育方針に関しては年度当初だけでなく、様々な場面で伝えていく必要があると感じた。○本校区は保護者や地域の協力が得られやすい地域である。その強みを生かし、今後の「開かれた学校づくり」をより一層推進していきたい。

⑧本校の教育

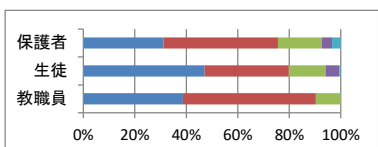
15 1

子どもたちは、楽しく学校に通うことができていると思いますか。



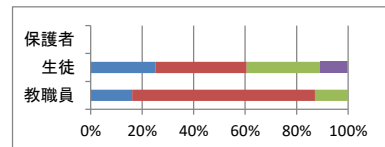
16 2

子どもたちは、ボランティア活動に積極的に参加していますか。



17 3

子どもたちの「自己有用感」を高める取り組みはありましたか。



【学校から】○「楽しく通うことができている」に対して「3」「4」と答えた生徒の割合は昨年度より5%増えた。「1」「2」と答えた8%の生徒への配慮をするとともに、その「楽しさ」が授業に向かうように授業改善に努めたい。○学校生活が楽しいと答えた生徒が9割を超えた半面、「自分自身が役に立った」と感じている生徒は約6割にとどまった。本校の課題である不登校を少しでも改善するために、生徒たちが自己有用感を高めることができるように、生徒の活躍の場を増やすこととほめて伸ばす指導を心掛けていきたい。○ボランティアに関しては個人差が大きいですが、本校区にはその素地があるので、さらに活性化していきたい。

来年度の具体的な取り組みについて

- 生徒との日常の温かい関りを通して、生徒一人一人を深く理解し、丁寧な指導を心がけることで、生徒が安心して過ごすことができ、保護者から信頼していただける学校づくりをさらに進める。
- 道徳の時間を要とした日々の「心の教育」をさらに充実させる。重点項目としての「生命尊重」「相互理解」「向上心」を学校行事など全ての学校教育活動で意識し、生徒の人権意識を高め、自尊感情と共に自己有用感を高めていく指導をさらに充実させていく。
- ICTの活用をはじめとする魅力ある授業づくりを進めると共に、授業UDの視点に立ち、「全員が分かる・出来る」授業展開を全教科で工夫し、自ら学ぶ意欲を育み、確かな学力の向上に努める。
- 学校教育全体を通した体育指導・保健指導をさらに充実させる。外遊びの推進、部活動の活性化、学校保健委員会の充実等により、体力の向上を図るとともに、生徒の自己管理能力を高められるようにする。
- 学校の教育目標や目指す学校像についてはホームページや学級通信等を通して啓発し、教職員だけでなく生徒や保護者も意識していけるような工夫をする。
- 地域との関係を大切にし、郷土を愛する心・ボランティア意識をさらに高めていく。
- 学年会・学年主任会・生徒指導部会を充実させると共に日常の情報交換を密にし、教職員の連携をさらに強めていく。また、関係機関との連携を深め、ケース会議を充実させていく。
- 毎学期、本校の課題や成果を教職員が自ら考える場を積極的に設け、課題を解決するための方策を出し合い、実行していく。

学校関係者評価

- ・登下校時など、よく挨拶をしてくれる。もう少し元気があるとさらに良いと思う。
- ・不登校生徒が多いのが課題である。小学校では登校できない児童に声をかけたり、保護者の相談に乗ったりしたことがあったので、中学生に対してもそのような協力ができるのではないかと。民生委員を窓口にするなどして協力を呼び掛けてみてはどうだろうか。
- ・SNSの利用に関しては、家庭や学校でしっかりと指導していき必要があると思う。今後も継続して指導してほしい。
- ・先生方の休日もない部活動などのあり方は改善していくべき。
- ・学校にも留守番電話がついたのはよいことだと思う。